

# 「IT機器」第三者保守」の業界団体発足

「コスト削減」で成長  
認知と信用獲得を目指す

第三者保守(延命保守)とは、どのようなサービスでしょうか。

蔵満 メーカー保守が終了したIT機器を、メーカーではない第三者の企業が保守をするサービスです。機器はサーバーやネットワーク、ストレージといった機械が中心で、保守はその故障対応などが主です。国内では大体30〜40社ほどが手がけていますが、第三者保守に特化したところはまだそこまで多くありません。

また新しいビジネス期間が5年なら、5年ではIT機器の進化も早かったため、メーカー保守と、機器を入れ替えるという場合、数千円、

なのです。蔵満 海外ですと業界の7割のお客様が利用しているという記事もあるんです。他方、日本は1〜2割程度あればいい方で、知名度も低いんですね。だからこそ成長性は非常に高く、大手企業中心にお客様は増えてきています。毎年20%くらい成長率はあると言われています。

蔵満 2つ目はやはり、コスト削減意識の高さですね。機械を新たに交換する、経費がものすごくかかるため、そのまますべての保守を延長して使いたいというニーズがある。あるいは、規模感になることもありますが、その際、機器を入れ替える代わりに、保守を延長して使いたいというニーズがある。

2023年12月に立ち上がった業界団体の第三者保守協会(東京都千代田区)。メーカーやエスアイヤーに向けた認知拡大および、第三者保守ビジネスの信用獲得を目指す。代表理事に就任したエスエーティ(東京都府中市)の蔵満茂社長に、第三者保守ビジネスの可能性と、団体を通じた今後の見通しを聞いた。



## 第三者保守協会 蔵満茂 代表理事



蔵満 知名度が低い中、第三者保守サービスを本気で信じてくれるものにするべく、協会を作り出した。昨年12月に登記して、4月に3社が新規加盟し、現在7社います。今後まだまだ増やしていきたいと思っています。

蔵満 加緊企業は競合同士でもありません。蔵満 コンペティター同士でも、意外とみなさん仲良く情報交換しているんです。むしろビジネスを伸ばしていくためには、やはり知名度を高めなくてはならないというのがみなさん共通の考えです。1社で頑張るよりも、協力を立ち上げたほうがメリットを見込めるという考えから、今回の設立に至りました。

蔵満 そのなかでどのような活動を。

蔵満 現在、ガイドラインの制定を進めており、すでに骨子をHPで公開しています。「協会としてはこれが推奨です」と。今はそれをどうまで深掘りしていくか、議論しています。

蔵満 第三者保守のガイドラインに沿えば、保守品質を担保できる。蔵満 はい。保守にあたっては、保守用品の検品、真贋、動作チェックなどをしているから、品質は保証できる。あとは、メーカーとの協業を視野に入れる以上、メーカー並みの保守品質が必要では。

蔵満 将来的にメーカーさんと協業し、保守用品の供給や、情報共有ができれば理想的です。

蔵満 その背景は。蔵満 どうしてもメーカーさんの立場上、新しいものを仕入れるには、品質を担保する必要があります。参加企業間で保守品質を高めたいです。全国、24時間365日対応できる体制です。幅広くメーカーを見ているのは、大変なイメージがあります。

蔵満 幸い、弊社にはいるようなメーカーにいた人間が技術者として入っていたり、そういう人たちの知見もあって、対応製品の幅が広いんです。機械の障害にどう対応するか研究していますが、メーカーさんの場合、それに加えて製品の保証もする。IT機器に組み込まれているソフトウェアの修復を行う場合もあり、必然的に料金が高くなるんですよ。

### 国内プレイヤー約40社の成長産業 コスト削減と環境配慮を両立

蔵満 将来的にメーカーさんと協業し、保守用品の供給や、情報共有ができれば理想的です。

蔵満 その背景は。蔵満 どうしてもメーカーさんの立場上、新しいものを仕入れるには、品質を担保する必要があります。参加企業間で保守品質を高めたいです。全国、24時間365日対応できる体制です。幅広くメーカーを見ているのは、大変なイメージがあります。

蔵満 幸い、弊社にはいるようなメーカーにいた人間が技術者として入っていたり、そういう人たちの知見もあって、対応製品の幅が広いんです。機械の障害にどう対応するか研究していますが、メーカーさんの場合、それに加えて製品の保証もする。IT機器に組み込まれているソフトウェアの修復を行う場合もあり、必然的に料金が高くなるんですよ。

蔵満 エスエーティは2006年創業で、もとNECグループが販

蔵満 エスエーティは2006年創業で、もとNECグループが販

蔵満 エスエーティは2006年創業で、もとNECグループが販

蔵満 エスエーティは2006年創業で、もとNECグループが販

蔵満 エスエーティは2006年創業で、もとNECグループが販

蔵満 エスエーティは2006年創業で、もとNECグループが販

**協会概要**

名称 一般社団法人第三者保守協会  
事務所 〒102-0074 東京都千代田区九段南3丁目5番7号  
設立年月日 令和5年12月1日

**加盟企業**

株式会社エスエーティ  
株式会社グットイット  
株式会社シアード・ソリューション・サービス  
JBサービス株式会社  
ディーシーエスエス・テクノロジー・ジャパン株式会社  
バックサポートソリューション株式会社  
Park Place Technologies Japan合同会社

**代表理事プロフィール**

蔵満茂(くらみつ・しげる)  
1966年4月、岐阜県高山市出身。高校卒業後、日立系列の企業で「メインフレーム」と呼ばれる大型IT機器の保守を担当。その後、サン・マイクロシステムズ(現:オラクル)を経て、40歳でエスエーティを創業。幅広いIT機器の保守サービス、構築サービスを手がける。23年12月、一般社団法人第三者保守協会の立ち上げに伴い、代表理事に就任。